

明石市長 様

施設等利用費請求書（償還払い用）

私立幼稚園（新制度移行園除く）、国立大学附属幼稚園、特別支援学校幼稚部の施設等利用費

【令和 年 月 ～ 令和 年 月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記の通り請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んで下さい。

なお、審査にあたり、明石市が下記の事項に関し、調査・確認することに同意します。

1. 申請者と認定子どもが明石市内に居住していることを住民基本台帳で確認すること。
2. 実際に施設等を利用していることを対象施設に確認すること。
3. 利用料の支払い状況を対象施設に確認すること。
4. 課税状況を確認すること。

1. 施設等利用給付認定保護者（請求者）

フリガナ		認定 子ども との 続柄	現 住 所	〒
氏 名	※償還払いの場合の振込先は請求者名義の口座です			

2. 認定子ども（認定子どもごとに申請して下さい）

認定種別（法第30条の4）	<input type="checkbox"/> 第1号 <input type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号		
生年月日	年 月 日	フリガナ	
対象期間中の住所		氏 名	
<input type="checkbox"/> 現住所のとおり <input type="checkbox"/> 転入した <input type="checkbox"/> 転出した			
上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入			年 月 日

3. 在籍する幼稚園等

幼稚園等 名 称			
契約している利用料（何れかにレを 記入し金額を記入）※1	<input type="checkbox"/> 月 額 円	<input type="checkbox"/> 日 額 円	<input type="checkbox"/> 時 間 円
対象期間中の在籍状況		<input type="checkbox"/> 期間中在籍 <input type="checkbox"/> 途中入園した <input type="checkbox"/> 途中退園した	
上記で、途中入園または途中退園に該当した場合はその年月日を記入			年 月 日

※1 利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期等）場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して月額相当分を算出し、月額欄の□にレを記入したうえ、算出した月額相当分を記入して下さい。（10円未満の端数切り捨て）。

4. 償還払いの振込先（※2）

金融機関名	預金種目	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> ()			
銀行・信用金庫	本店	口座番号			
	支店				
農協・信用組合	出張所	口座名義(カタカナ)			

※2 請求者名義の口座を振込先に指定して下さい。

<裏面も記入して下さい>

5. 施設等利用費の償還払い請求の内訳

a 支払った入園料 (今年度分の入園料を支払った場合に記入) ※3		入園年月日() 入園料(円)			
利用年月	b 支払った 今年度分入園料の 月額換算額 (=a/12) ※4	c 支払った 月額利用料 (保育料) ※3 ※5	d 支払額合計	e 月額上限額 ※6	請求額 (dとeを比較して 小さい方)
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円

※3 記入した入園料や保育料について、支払いを証明する領収証(口座振替の場合は通帳コピー等、確認ができる書類等)と特定子ども・子育て支援提供証明書を添付して下さい。

※4 途中入退園の場合は、12ではなく当該年度の在籍月数で除して下さい(10円未満の端数切り捨て)。

※5 利用料の設定が月単位を超える(四半期、前期・後期など)場合は、当該保育料を当該期間の月数で除して、保育料の月額相当分を算出して下さい(10円未満の端数切り捨て)。

※6 月額上限額：私立幼稚園は25,700円、国立大学附属幼稚園は8,700円、国立大学附属特別支援学校は400円
(月の途中で利用終了する場合は、「月額上限額×退所日までの平日開所日数÷その月の平日開所日数」、途中で利用開始する場合は、「月額上限額×入所日以降の平日開所日数÷その月の平日開所日数」を記入して下さい)。